ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	I-14	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 2日 ～ 19年 8月 4日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	6.40m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	11.00m								エンジン －	ポンプ	－

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高(m)	試験名および結果	試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	6.05	0.35	0.35		盛土（砂）	黄褐～暗褐			細～粗砂を主体とし、粒径不均一。少量のシルト分全体に混入。φ50～70mm位の亜円礫混入。含水小位。														
1																							
2	3.80	2.25	2.60		盛土（砂質シルト）	暗褐			多量の砂分を全体に混入。粘性小～中位。φ50～70mm位の亜円礫混入。														
3	2.95	0.85	3.45		盛土（シルト質砂）	暗褐			細砂主体、3.05m迄多量のシルト分混入。含水小～中位。3.05～3.15m間コンクリート。3.15m以深シルト分減少し、細砂主体。	8/5 2.85													
4	1.80	1.15	4.60		盛土（砂混じりシルト）	暗褐			3.65m迄コンクリートガラ主体シルト主体、粘性小～中位。貝殻片・細礫混入。3.75m以深砂分を全体に混入する。φ40mm位の亜円礫混入。														8/2
5																							
6	0.15	1.65	5.25		埋土（貝殻混じり細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。含水中位。貝殻片を全体に混入する。														
7	-0.40	0.55	5.80		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			粘性小～中位。砂を全体に混入。貝殻片及びφ30～40mm位の亜円礫点在。														
8	-1.22	0.82	7.62		埋土（細砂）	暗灰			細砂主体。粗砂混入し、粒径不均一。含水中位。少量の貝殻片を全体に混入。														8/3
9	-2.43	1.21	8.83		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			粘性小～中位。貝殻片・砂を全体に混入。8.00～8.35m間細砂挟在。含水大位。														
10	-4.25	1.82	10.65		埋土（シルト質細砂）	暗灰			細砂主体。砂は粒径ほぼ均一。シルトを全体に混入。含水中位。														8/4
11	-4.60	0.35	11.00		砂混じりシルト	暗灰			粘性小～中位。少量の砂を全体に混入。														
12																							
13																							

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	I-21	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 5日 ～ 19年 8月 5日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	8.45m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	9.80m								エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					盛土（撹拌じり粘性土）	褐～暗灰～褐灰			シルト主体とし、粘土を所々にブロック状に混入。 砂不規則に混入。φ5～15mmの礫を全体に混入。 少量の植物根を所々に混入。色調不規則、粘性中位、含水小位～中位。	8/29 5.15													
2																							
3																							
4																							
5																							
6	2.45	6.00	6.00																				
7	0.55	1.90	7.90		盛土（撹拌じり砂質土）	黒灰～暗灰			細砂を主体とし、シルト分を全体に混入。 φ5～15mmの礫を全体に混入。色調不規則、含水小位～中位。 6.40m付近金属片混入。														
8	-0.75	1.30	9.20		埋土（細砂）	暗灰			シルトを所々にブロック状に混入。 8.65～8.75m間・8.79～8.83m間シルト層を挟在。 9.00m付近から粒子がやや細かくなる。														
9	-1.35	0.60	9.80		シルト	暗灰		中位	少量の貝殻片・少量の細砂を所々に混入する。 粘性中位、含水小位。														B5
10																							
11																							

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	I-25	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 7日 ～ 19年 8月 7日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	7.01m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	7.70m								エンジン －	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					盛土（礫混じり粘性土）	褐灰～黒灰～褐			0.30m迄砕石。以深礫混じり粘土主体。色調不均質。 微細砂・シルト分を全体に混入。φ10～20mmの礫を全体に混入。 少量のコンクリート殻を所々に混入。粘性中位、含水小位。 1.0～1.50m付近砕石主体。 1.50m付近から礫混じり粘土主体。 微細砂・シルト分を全体に混入。 φ10～20mmの礫を全体に混入。粘性中位、含水小位～中位。 2.50～3.50m間　貝殻片を所々に少量混入。 2.92m・3.70m付近　植物根を混入。 4.00～5.00m間炭化物を所々に混入。 5.00m付近からシルト質粘土主体。 φ5～10mmの礫を所々に少量混入。 細砂を不規則に少量混入。 褐色を基色とするが、色調は不規則。 粘性中位、含水中位。	8/20 2.80															
2																							
3																							
4																							
5																							
6	0.76	6.25	6.25																				
7	0.01	0.75	7.00		シルト混じり細砂	黒灰			細砂主体。シルトを不規則に混入する。貝殻片を全体に混入する。 含水中位。														
	-0.44	0.45	7.45		礫混じり粗砂	黒灰			粗砂主体。φ5cm程度の礫を全体に混入。貝殻片を全体に多量に混入。 含水中位～大。														8/7
	-0.69	0.25	7.70		シルト	暗灰			上部砂分多く砂質シルト状 7.6m以深ほぼ均質なシルト。粘性中位、含水大。														
8																							
9																							
10																							
11																							

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	J-7	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 23日 ～ 19年 8月 24日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	15.37m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	21.90m								

試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	14.72	0.65	0.65		盛土（礫混じり砂質土）	暗褐			細砂を主体とする。粗砂・細礫を混入し、粒径不均一。φ30～40mmの礫を全体に混入する。含水小位。
1～14	0.64	14.08	14.73		盛土（礫混じり粘性土）	暗褐～褐～暗灰			6.00m付近まで　シルトを主体とし、砂分を全体に混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。暗褐～暗灰色を呈する。粘性小位、含水小位。1.30～1.40m間　礫混じり細砂挟在。暗灰色を呈する。 10.25m付近まで　シルトを主体とする。所々少量のロームを混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。植物根を所々に混入する。暗褐色を呈する。粘性小位～中位、含水小位。 12.70m付近まで　砂質粘土主体。砂分を全体に混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。貝殻を全体に少量混入する。植物根を所々に混入する。暗褐色を呈する。粘性中位、含水小位。 14.35m付近まで　砂質シルト主体。砂分を全体に混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。褐色を呈する。粘性中位、含水小位。 14.35～14.50m間　礫混じり細砂挟在。暗灰色を呈する。φ20～40mmの礫を混入する。貝殻片・植物根を所々に混入する。含水小位。 14.73mまで　粘土主体。所々にシルトを混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。暗褐色を呈する。粘性中位、含水小位。
15	0.22	0.42	15.15		盛土（砂混じりシルト）	暗灰			砂分を全体に混入する。レンガ片を所々に混入する。粘性中位、含水小位～中位。
16	-0.83	1.06	16.20		盛土（礫混じり粘性土）	暗褐			粘土を主体とし、砂分を全体に混入。粘性中位、含水中位。φ30～50mmの礫を全体に混入。
17	-1.78	0.95	17.15		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			砂分を不規則に混入するシルト。粘性小位～中位、含水中位～大。
	-2.31	0.53	17.68						
18					埋土（シルト混じり細砂）	暗灰			シルト分を全体に混入する。含水中位～大。
19	-3.78	1.47	19.15		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			砂分を不規則に混入するシルト。少量の貝殻片を全体に混入する。レンガ片を所々に混入する。粘性中位、含水中位～大。
	-4.28	0.50	19.65						
20					埋土（シルト）	暗灰			粘性中位～大、含水中位～大。19.30～19.60m間　黒色を呈する。
21	-6.16	1.90	21.55		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。全体に貝殻片を混入する。含水中位～大。
22	-6.53	0.35	21.90		砂混じりシルト	暗灰			ほぼ均質なシルト。砂分を全体に混入する。貝殻片を少量全体に混入する。粘性中位、含水中位。
23									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高(m)	試験名および結果	試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（一）	掘進月日
8/28 11:17									4.67 / 2.92	C-1		CBR FAD 試験	
									3.62 / 2.92	C-2		CBR FAD 試験	
									0.95 / 0.95	C-3		シンウン試験	8/23
													8/24

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-10	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 17日 ～ 19年 8月 18日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	13.80m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	19.30m								エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 60 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（一）	掘進月日
1	12.60	1.20	1.20		盛土（機械混じり砂質土）	暗褐			細砂を主体、粗砂を混入し粒径不均一。粘土分を不規則に混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。含水小位。														
2	10.85	1.75	2.95		盛土（機械混じり粘性土）	暗褐～褐			シルトを主体とし、砂分・粘土分を不規則に混入する。φ30～60mmの礫を全体に混入する。粘性小位、含水小位。														
3	10.00	0.85	3.80		盛土（砂混じり粘性土）	暗褐～暗灰			3.15m付近まで　細砂主体。シルトを主体とし、細砂を全体に混入する。3.30m付近　φ30mm程度の礫・貝殻片を混入する。粘性小位、含水小位。														
4	9.40	0.60	4.40																				
5	7.75	1.65	6.05		盛土（機械混じり細砂）	暗灰			細砂主体。φ30mm～80mmの礫を全体に混入する。含水小位。														
6	7.15	0.60	6.65		盛土（砂混じりシルト）	暗灰			シルト主体。細砂を不規則に混入し、不均質。粘性中位、含水小位～中位。														
7	6.62	1.13	7.18		盛土（機械混じり粘性土）	暗灰			粘土を主体とし、シルト分・砂分を全体に混入。φ50～100mmの礫を全体に混入。														
8	6.20	0.42	7.60		盛土（細砂）	暗褐～褐			細砂主体。シルトを所々に不規則に混入。φ50～80mmの礫を全体に混入。含水小位～中位。														
9					盛土（機械混じり細砂）	暗灰			細砂主体。φ30～50mmの礫を全体に混入。粘土分を所々に少量混入。7.65m付近　木片を少量混入する。														
10	3.65	2.55	10.15																				
11	2.50	1.15	11.30		盛土（砂質シルト）	褐			細砂を全体に多量に混入。φ30～50mmの礫を所々に少量混入。粘性小位、含水小位。														
12					盛土（機械混じり粘性土）	暗灰			シルトを主体とし、砂分・粘土分を少量混入。φ30～50mmの礫を全体に混入。粘性小位～中位、含水小位。														
13	0.05	2.45	13.75							8/18 13.75									0.85 / 0.75	C-1		シアン溶出	8/17
14					堤土（細砂）	暗灰			貝殻片を全体に多量に混入する。14.75m付近まで貝殻片を全体に多量に混入。含水中位。14.75m～14.90m間シルト層を挟在。14.90mから貝殻片を全体に混入。含水大位。														
15	-1.70	1.75	15.50																				
16	-3.15	1.45	16.95		埋土（シルト）	暗灰			ほぼ均質なシルト。粘性中位、含水中位～大。15.95～16.40m間多量の細砂及び貝殻片を混入。														
17					埋土（細砂）	暗灰			細砂主体。貝殻片を全体に混入。含水中位。17.05～17.20m間　シルト層を挟む。														
18	-5.00	1.85	18.80																				
19	-5.50	0.50	19.30		砂質シルト	暗灰			多量の細砂を全体に混入。粘性小位～中位、含水小位～中位。														8/19

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-11	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 24日 ～ 19年 8月 25日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	11.71m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	17.20m								エンジン －	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	標準貫入試験 10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					盛土（礫混じり粘性土）	暗褐			0.50m迄砕石主体。 シルト主体。砂分・粘土分を不規則に混入。 φ10～30mmの礫を全体に混入。 所々礫混じり細砂層挟在。 粘性小位～中位、含水小位。														
2																							
3																							
4																							
5									5.00～5.75m間　暗灰色を呈する。														
6									5.75～5.90m間　黒色を呈する。 6.00mから暗灰色を呈し、所々に礫混じりロームを挟在。														
7	4.61	7.10	7.10																				
8					盛土（礫混じりローム）	褐			ローム質土主体 φ10～40mmの礫を全体に混入。 コンクリート殻を所々に混入。 粘性小位、含水小位。	9/3 8.33								土壌ガス<0.05 volppm	-8.05	1.48	C-1			
9																							
10	1.36	3.25	10.35																				
11	-0.19	1.55	11.90		盛土（礫混じり粘性土）	暗灰			シルト主体。砂分を不規則に混入。 φ10～40mmの礫を全体に混入。 コンクリート殻を所々に混入。 粘性小位、含水小位。 11.40m付近　コンクリート殻を多量に混入。														
12	-1.23	1.04	12.94		埋土（シルト質細砂）	暗灰			シルト分を全体に多く混入。含水中～大位。 φ10～30mmの礫を所々に少量混入。 貝殻片・コンクリート殻を所々に混入。 12.30m付近電線片を混入。														B-24
13																							
14					埋土（砂混じりシルト）	暗灰			細砂を不規則に混入。貝殻片を全体に少量混入。 所々に細砂層を挟在。 粘性中位、含水中位。														
15	-3.69	2.46	15.40																				
16	-4.99	1.30	16.70		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。 貝殻片を全体に混入。 含水中位～大。														
17	-5.49	0.50	17.20		砂質シルト	暗灰			砂分を全体に多く混入。 貝殻片を全体に少量混入。 粘性中位、含水中位。														B-25

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-16	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 20日 ～ 19年 8月 20日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	6.53m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北 0°　270°西　90°東　180°南	地盤勾配	水平0°　鉛直90°	使用機種	試錐機 ECO-3V　ハンマー落下用具 －
総掘進長	11.00m								エンジン －　ポンプ －

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2 3 4	1.63	4.90	4.90		盛土（礫混じり細砂）	暗灰～褐灰～黒灰			細砂を主体とし、含水小～中位。 2.45m付近までφ10～25mmの礫を全体に混入。 粘土分を不規則に少量混入する。 3.70m付近までφ10～40mmの礫を全体に混入。 コンクリート殻を所々に混入。 3.70m付近　木片・金属片を混入。 4.90m付近までφ10～30mmの礫を全体に混入。 腐植物・レンガ片を所々に混入。 4.70m以深シルト分をブロック状に混入。
5 6 7	-1.37	3.00	7.90		埋土（細砂）	暗灰			少量のシルト分を全体に混入。貝殻片を全体に混入。 5.60m付近　金属片を混入する。 5.80m付近まで含水中位、5.80から含水大位。 6.10m付近　シルト層を挟在。
8	-2.47	1.10	9.00		埋土（シルト）	暗灰			ほぼ均質なシルト、全体に雲母を混入。 粘性中位、含水小位～中位。
9 10	-3.97	1.50	10.50		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一、全体に貝殻片を混入する。 含水中位。 10.35m以深シルト分をブロック状に混入。
11	-4.47	0.50	11.00		砂混じりシルト	暗灰			細砂を全体に混入、貝殻片を全体に混入。 粘性中位、含水小位～中位。

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高(m)	試験名および結果	試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
8/24 3.45									4.05 3.55	C-1			
									3.05 2.95	C-2			
													8/20

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-23	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 21日 ～ 19年 8月 21日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	6.90m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	7.40m								エンジン －	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	標準貫入試験 10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（一）	掘進月日
	6.30	0.60	0.60		盛土（礫混じり細砂）	褐灰			細砂を主体とするが、シルト分を不規則に少量混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。含水小位。														
1																							
2					盛土（礫混じり粘性土）	褐灰～暗灰			粘土を主体とし、不規則にシルト分・砂分を多く混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。粘性小位、含水小位。														
3	3.20	3.10	3.70						2.90m以深コンクリート殻・レンガ片を所々に混入。3.50～3.70m間木片を混入。	5/24 3.19									4.05 3.95	C-1			
4	2.05	1.15	4.65		盛土（礫混じり細砂）	褐灰～暗灰			φ10～30mmの礫を全体に混入。貝殻片を全体に混入する。所々にシルト層を挟在。含水小位。										3.05 3.95	C-2			
5	0.90	1.15	6.00		埋土（シルト混じり細砂）	暗灰			シルトを全体に混入する。貝殻片を全体に混入する。含水大。5.35～5.50m間　シルト層を挟在。														
6	0.48	0.42	6.42		シルト	暗灰			ほぼ均質なシルト。粘性中位、含水中位。														
	0.10	0.38	6.80		細砂	暗灰			シルト分を全体に少量混入。貝殻片を全体に混入。含水大。														
7	-0.50	0.60	7.40		シルト	暗灰			ほぼ均質なシルト。粘性中位、含水中位。所々少量の細砂を混入。														8/21
8																							

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-25	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 22日 ～ 19年 8月 23日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	9.60m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	12.00m								

試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	標準貫入試験 10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					盛土（混じり砂質土）	暗灰			0.30m瓦礫石。 細砂主体。粗砂～細礫を混入し粒径不均一。 φ10～30mmの礫を全体に混入。含水小位。														
2																							
3	6.20	3.40	3.40																				
4					盛土（混じりローム）	暗褐			φ10～30mmの礫を全体に混入。 粘性中位、含水中位。 5.00mから少量の砂分を混入。 木片・腐植物を所々に混入。														
5	4.26	1.94	5.34																				
6					盛土（混じり細砂）	褐灰～黒灰			φ10～30mmの礫を全体に混入。 木片・コンクリート殻・腐植物を所々に混入。 色調不均質。	8/24 5.90									4.65 1.95	C-1		UN PAR FIL	
7																			3.65 1.95	C-2		PIS PAR FIL	
8	1.30	2.96	8.30																				
9	0.60	0.70	9.00		粘土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一、貝殻片を全体に少量混入する。 シルト分を全体に少量混入する。含水中位～大位。														8/22
	0.25	0.35	9.35																				
10					砂質シルト	暗灰			砂分を全体に混入する。 少量の貝殻片を全体に混入する。 粘性中位、含水中位～大。														
11	-1.90	2.19	11.50		細砂	黒灰～暗灰			貝殻片を全体に混入。所々にシルトを薄層状に挟在。含水中位。 9.35～9.60m　粗砂挟在。														
12	-2.40	0.50	12.00		砂混じりシルト	暗灰			細砂を不規則に混入。貝殻片を全体に混入。 粘性中位、含水中位。														8/23

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K－7	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 27日 ～ 19年 8月 28日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03－3633－7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	6.60m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	12.10m								

試錐機	ECO－3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	6.10	0.50	0.50		盛土（混じり砂質土）	暗褐			細砂主体。細礫・粗砂を混入し粒径不均一。 φ30～50mmの礫を全体に混入。	8/30 1.60
1					盛土（粘性土）	暗褐～暗灰			1.15m付近まで　粘土を主体とし、砂分・シルト分を全体に混入。 φ30～50mmの礫を全体に混入。粘性中位、含水小位。 2.20m付近まで粘土を主体とし、多量の砂を全体に混入。 粘性中位、含水小位。 2.20～2.50m間土質採取されずにスリーブ内水が充填。 3.60m付近まで　粘土を主体とし、砂分・シルト分を全体に混入。 泥岩屑を全体に混入。粘性中位、含水大。	
2										
3	3.00	3.10	3.60							
4	1.60	1.40	5.00		盛土（混じりローム）	褐			φ30～50mmの礫を全体に混入。 コンクリート殻を所々に少量混入。 粘性中位、含水小位～中位。	
5	1.20	0.40	5.40							
6					盛土（混じり粘性土）	黒灰			シルトを主体とし、粘土・砂を不規則に混入。 φ30～50mmの礫を全体に混入。 貝殻片・植物根を所々に混入。 粘性小位～中位、含水小位。 5.00～5.20m　油臭あり。	
7	-0.40 -0.65	1.60 0.25	7.00 7.25							
8	-1.70	1.05	8.30		盛土（混じりローム）	褐～暗褐			φ30～50mmの礫を全体に混入。 貝殻片を全体に少量混入。植物根を所々に混入。 粘性中位、含水小位。	
9					埋土（砂混じりシルト）	暗灰			細砂を全体に混入。 粘性小位～中位、含水中位。 針金混入。	
10	-3.40	1.70	10.00		埋土（シルト）	暗灰			ほぼ均質なシルト、粘性中位、含水中位。 8.00mから　暗褐色を呈する。	B 27
11					埋土（砂質シルト）	暗灰			細砂を全体に混入。粘性中位、含水中位。 少量の貝殻片を全体に混入。 9.75～9.90m間黒灰色を呈する。含水大。	
12	-5.18 -5.50	1.78 0.32	11.78 12.10		埋土（細砂）	暗灰			所々に少量のシルト分を混入。 少量の貝殻片を全体に混入。含水大。 11.45～11.78m　貝殻片を多量に混入。	B 28
13					シルト	暗灰			ほぼ均質なシルト。 粘性中位、含水中位。	
14										

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 標高(m)	試験名および結果
6.05 5.95	土壌ガス ＜0.05volppm

試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
4.85	C-1			
4.35				
4.25	C-2			
3.45				
3.35	C-3			
3.15	C-4			
3.05	C-5			
2.85	C-6			
2.75	C-7			
2.65	C-8			
2.55	C-9			
2.45	C-10			
2.20				

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	K-9	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 20日 ～ 19年 8月 21日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	15.65m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	21.00m								

試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	14.00	1.65	1.65		盛土（じり粘性土）	暗褐			上部0.50m迄砂ち。以深シルトを主体とし、砂分を不規則に混入する。φ30～80mmの礫を全体に混入する。植物根・木片・コンクリート殻を所々に少量混入する。粘性小位、含水小位。
2	12.95	1.05	2.70		盛土（粘土混じり砂礫）	暗褐			φ20～40mmの礫を主体とし、マトリックスは砂。シルトを全体に混入。含水小位。
3	11.60	1.35	4.05		盛土（礫混じり細砂）	褐～暗灰			φ30～50mmの礫を全体に混入する。貝殻片を全体に混入する。色調不規則。
4	10.65	0.95	5.00		盛土（細砂）	暗灰			少量の細礫を所々に混入する。貝殻片を全体に大量に混入する。含水小位。
5									
6									
7									
8	6.70	3.95	8.95		盛土（礫混じり粘性土）	暗褐			シルト主体、粘土分混入。φ30～50mmの礫を全体に混入する。コンクリート殻を所々に混入する。粘性中位、含水小位。
9									
10	4.65	2.05	11.00		盛土（礫混じりシルト質細砂）	暗褐			φ30～50mmの礫を全体に混入する。多量のシルト分を全体に混入する。所々に粘土分を混入する。含水小位。
11									
12					盛土（礫混じり粘性土）	暗褐～褐～暗灰			粘性土・砂質土・ローム質土が厚さ0.4～1.2m程で主体をなす。φ10～50mm位の礫を全体に混入。含水小～中位。12.20m付近まで粘土を主体とし、シルト分・砂分を全体に混入。12.70m付近まで細砂を主体とし、シルト分を所々に混入。13.10m付近までローム質粘土を主体とし、シルト分を全体に混入。13.70m付近まで細砂主体。貝殻片全体に混入。レンガ片所々に混入。14.95m付近まで粘土を主体とし、砂分・シルト分を全体に混入。
13									
14									
15	0.80	3.85	14.85						
16	0.20	0.60	15.45		盛土（礫混じり細砂）	暗褐			少量の粘土分を所々に混入する。φ10～30mmの礫を全体に混入する。含水中位。
17	-0.90	1.10	16.55		盛土（礫混じりローム）	褐			φ50mm程度の礫を全体に混入する。植物根を所々に混入する。粘性中位、含水中位。
18	-3.20	2.30	18.85		埋土（シルト）	暗灰			ほぼ均質なシルト。少量の砂分を全体に混入する。粘性中位、含水小位～中位。
19									
20	-4.83	1.63	20.48		埋土（細砂）	暗灰			少量のシルト分を混入する。貝殻片を全体に混入する。含水中位～大。
21	-5.35	0.52	21.00		砂混じりシルト	暗灰			細砂を不規則に混入する。粘性中位、含水小位～中位。
22									

孔内水位(m)／測定月日：8/28 11.83

標準貫入試験：深度(m)／10cmごとの打撃回数 0～10、10～20、20～30／打撃回数／貫入量(cm)／N値（0 10 20 30 40 50 60）

原位置試験：標高(m)／試験名および結果（　）

試料採取：標高(m)／試料番号／採取方法

室内試験（　）

掘進月日：8/20、8/21

試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法
4.10 / 3.90	C-1	
3.20 / 2.90	C-2	
0.95 / 0.75	C-3	シンウォーキング
-0.15 / -0.35	C-4	シンウォーキング

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	L-4	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 17日 ～ 19年 8月 17日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	6.52m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 90° 0°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具 —
総掘進長	12.00m								エンジン —	ポンプ —

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（一）	掘進月日
	5.92	0.60	0.60		盛土（シルト混じり砂礫）	褐灰			上部10cm砕石主体 5～30mm位の礫・砕石主体 マトリックスは細砂主体 シルト分を全体に混入 含水小位														
1																							
2					盛土（礫混じりシルト）	褐灰～暗灰			シルト主体　粘性小位 5～50mm位の礫・砕石点在 多量の砂分を全体に混入														
3	2.82	3.10	3.70																				
4	2.32	0.50	4.20		盛土（シルト混じり砂）	暗褐灰			細砂主体　粗砂～細礫点在し、粒径不均一 シルト分を全体に混入 含水中位	8/17 4.10													
5	0.82	1.50	5.70		盛土（砂）	暗褐灰			細～粗砂主体　含水中位 細礫点在する														
6	-0.98	0.90	6.60		盛土（砂混じりシルト）	黒灰			細～粗砂及び細礫を全体に混入する 粘性小位　油臭あり									0.45 0.35	C-1		シンウォール		
7	-0.53	0.45	7.05		盛土（細砂）	暗灰～黒灰			細砂主体　細礫点在する 6.85m以深　多量のシルト分混入 含水中位														
	-1.18	0.55	7.70																				
8					盛土（砂混じりシルト）	暗灰			粘性小位　砂分を全体に混入 褐灰色の粘土をブロック状に混入 7.5m及び2～10mm位の礫点在														
9	-2.98	1.80	9.50		埋土（シルト混じり細砂）	暗灰			細砂主体 シルトを全体に混入する 含水中位　貝殻片混入														
10					砂混じりシルト	暗灰			粘性小～中位 所々ブロック状に細砂混入														
11																							
	-5.48	2.50	12.00																				5/17
12																							
13																							

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	L-6	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 6日 ～ 19年 8月 6日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	5.16m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機 ECO-3V	ハンマー落下用具 —
総掘進長	10.70m								エンジン —	ポンプ —

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	3.36	1.80	1.80		盛土（混じり粘性土）	暗灰			シルトを主体とし、粘土を不規則に混入。砂を所々にブロック状に混入。φ40～60mmの礫を全体に混入。粘性小位、含水小位。	8/16 1.50													
2					盛土（混ローム）	褐			φ10～30mmの礫を全体に混入。粘土を所々にブロック状に混入。腐植物を混入する。粘性小位～中位、含水小位。														
3																							
4	0.96	2.40	4.20																0.95 0.85	C-1		シンウォーキング	
5	0.16	0.80	5.00		盛土（シルト質砂）	暗灰～黒灰			シルト主体、細砂を全体に多量に混入。粘性中位、含水小位～中位。4.50m付近まで　細砂主体であり、シルト質細砂状。暗灰色を呈する。4.70m付近まで　黒灰色を呈する。4.80m付近まで　白色の泥岩片主体。5.00mまでφ10～20mmの礫を所々に混入。														
6																							
7					盛土（混じり粘性土）	暗褐～暗灰			シルトを主体とし、粘土を不規則に混入。全体的に層相不規則。粘性中位、含水中位～大。貝殻片を含む細砂も不規則に混入。φ30～40mmの礫を全体に混入。コンクリート殻・レンガ片を所々に混入。														
8																							
9	-4.54	4.70	9.70																				
10	-5.54	1.00	10.70		砂混じりシルト	暗灰～黒灰			細砂を全体に混入。貝殻片を全体に少量混入。粘性中位、含水中位。														8/6

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	L－7	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 9日 ～ 19年 8月 9日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03－3633－7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	5.12m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	10.70m								

試錐機	ECO－3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	4.67	0.45	0.45		盛土（礫混じり粘性土）	褐～茶褐			細砂を主体とする。φ30～45mmの礫を全体に混入。	
1 2 3	0.78	3.89	4.34		盛土（礫混じり粘性土）	褐～茶褐			シルトを主体とし、砂分を不規則に混入。φ30～45mmの礫を全体に混入。腐植物・木片を所々に混入。	
5	0.07	0.71	5.05		盛土（シルト混じり細砂）	褐～茶褐			シルトを全体に混入。コンクリート殻を所々に少量混入。4.30m付近泥岩片を混入。	8/9 5.05
6	-1.18	1.25	6.30		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。貝殻片を所々に少量混入。含水中位。	
7	-2.38	1.20	7.50		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			細砂を所々にブロック状に混入。粘性中位、含水中位。	
8	-2.83	0.45	7.95		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			φ30～40mmの礫を全体に混入。粘性中位、含水中位。	
	-3.18	0.35	8.30		埋土（細砂）	暗灰			貝殻片を全体に少量混入。木片を所々に混入。含水中位。	
	-3.58	0.40	8.70		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			細砂を全体に混入。粘性中位、含水中位。	
9 10	-5.03	1.45	10.15		埋土（シルト質細砂）	黒灰～暗灰			細砂主体。多量のシルトを全体に混入。9.00m付近までシルト分多い。9.10～9.90m間多量の貝殻片を混入。	
11	-5.58	0.55	10.70		砂質シルト	暗灰			多量の細砂を全体に混入。少量の貝殻片を全体に混入。粘性中位、含水中位。	
12										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
		1.15 1.25	G-1		シアン溶出	8/9

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	M-24	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場	調査期間	平成 19年 8月 4日 ～ 19年 8月 4日			東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	8.77m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	8.80m					試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
						エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	7.77	1.00	1.00		盛土（礫混じり粘性土）	褐			ロームを主体とする。 φ5～10mmの礫を全体に混入。
2	5.97	1.80	2.80		盛土（シルト混じり細砂）	暗灰			細砂主体。シルトを不規則に混入。 φ5～20mmの礫を所々に混入。含水小位。 1.40m付近φ100mm程度の亜円礫を混入。 2.70m付近シルト層を挟在。
3 4 5 6	2.77	3.20	6.00		盛土（礫混じり粘性土）	褐			シルトを主体とする。粘性小位、含水小位。 φ10～30mmの礫を全体に混入。 コンクリート殻を所々に混入。 5.90m～6.00m間木片・コンクリート殻混入。
7	1.87	0.90	6.90		埋土（礫混じり細砂）	暗灰			φ10～20mmの礫を全体に混入。含水大位。貝殻片を全体に混入。 木片を所々に混入。6.60～6.90m間コンクリート殻主体。
8	1.27 0.57	0.50 0.70	7.50 8.20		埋土（礫混じり有機質土）	黒			φ10mm程度の礫を全体に混入。貝殻片・木片を所々に少量混入。 粘性中位。含水中位～大位。
9	-0.03	0.60	8.80		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。貝殻片を全体に混入。含水中位。 7.60～7.70m間貝殻片を多量に混入。 8.10m付近シルト層を挟在。
10 11					シルト	暗灰			細砂を所々に少量混入する。粘性中位、含水中位。

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高(m)	試験名および結果	試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
8/6 5.45													8/4

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	M-4	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 8日 ～ 19年 8月 9日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	5.57m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	10.70m								

試錐機	ECO-3V	ハンマー落下用具	－
エンジン	－	ポンプ	－

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2	2.77	2.80	2.80		盛土（混じり粘性土）	暗褐			粘土を主体とし、砂・シルトを不規則に混入。 φ40～60mmの礫を全体に混入。 粘性中位、含水小位。 0.75～0.80m間コンクリート殻混入。	8/19 1.67
3 4	0.82	1.96	4.76		盛土（混じり砂質土）	褐灰			細砂を主体とし、粘土分を不規則に混入。 含水中位。 3.50～3.60m間粘土分を多く混入。 3.60mからコンクリート殻を所々に混入。	
5	0.42	0.40	5.15		埋土（砂質シルト）	暗灰			砂分を全体に混入する。特に5.00～5.15m間は砂分を多く混入。 粘性中位、含水小位～中位。	
6 7	-1.98	2.40	7.55		埋土（シルト質細砂）	暗灰			シルトを全体に多量に混入。 含水中位。	
8	-2.58	0.70	8.25		埋土（シルト）	暗灰			ほぼ均質なシルト。粘性中位、含水中位。 8.05m付近　木片混入。	
9	-3.38	0.70	8.95		埋土（砂混じりシルト）	暗灰			細砂を全体に混入。粘性中位、含水中位。 8.40m付近まで砂分多く、貝殻片を混入。	
	-3.83	0.45	9.40							
10	-4.43	0.60	10.00		埋土（シルト）	暗灰			微細砂を所々に少量混入。 9.30m付近　腐植物・貝殻片混入。 粘性中位、含水中位。	
11	-5.13	0.70	10.70		埋土（シルト質細砂）	暗灰			シルトを全体に多く混入。 貝殻片を全体に少量混入。 粘性中位、含水小位～中位。	
12					砂質シルト	暗灰			細砂を全体に多く混入。 貝殻片を全体に少量混入。 粘性小位～中位、含水小位～中位。	

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

標高(m)	試験名および結果

試料採取 標高(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
-0.15 -0.25	C-1		ﾌﾟﾗﾝﾍﾞﾝﾄﾞ	8/8 8/9

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	N－14	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 7日 ～ 19年 8月 8日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03－3633－7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	7.90m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 ECO－3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	12.40m								エンジン －	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3 4 5	2.00	5.90	5.90		盛土（撹混じり粘性土）	褐～茶褐			粘土を主体とし、砂分・シルト分を不規則に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。粘性中位～大、含水小位。3.00m以深細砂を全体に混入。5.80～5.90m間コンクリート殻主体。	8/16 4.97
6 7	0.42	1.58	7.48		埋土（細砂）	暗灰			5.90～6.40m間、7.00～7.40m間貝殻片を混入。含水小位～中位。	
8	-0.33	0.75	8.23		埋土（シルト）	暗灰			細砂を所々に少量混入。粘性小位～中位、含水小位～中位。7.90m付近から細砂・貝殻片を全体に混入。8.00m付近炭化物を混入。	
	-0.58	0.25	8.48							
9	-1.93	1.35	9.83		埋土（シルト質細砂）	暗灰			細砂主体。多量のシルトを全体に混入。含水中位。	
10	-2.55	0.62	10.45		埋土（細砂）	暗灰			多量の貝殻片を全体に混入。含水中位。9.05m付近泥岩片を混入。9.40m付近からシルト分を少量混入。	
11	-3.80	1.25	11.70		埋土（シルト）	暗灰			細砂を不規則に少量混入。粘性中位、含水中位。	
12	-4.50	0.70	12.40		埋土（シルト撹じり細砂）	暗灰			所々にシルト分をブロック状に混入。貝殻片を全体に混入。含水中位。	
13					砂撹じりシルト	暗灰			細砂を全体に混入。貝殻片を全体に少量混入。粘性中位、含水中位。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						8/7 8/8

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	N－9	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 27日 ～ 19年 8月 28日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03－3633－7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	4.08m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 ECO－3V	ハンマー落下用具	－
総掘進長	9.60m								エンジン －	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	3.08	1.00	1.00		盛土（ビニル混り細砂）	暗灰			0.1m迄コンクリート。0.30m迄砕石。細砂を主体とし、シルト分を不規則に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。コンクリート殻、レンガ片を所々に混入。	6/30 1.39
	2.28	0.80	1.80							
2					盛土（混ビ粘性土）	暗灰			粘土を主体とし、砂分・シルト分を不規則に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。コンクリート殻・レンガ片を所々に混入。1.40m付近泥岩片を混入。	
3										
4					埋土（混ビシルト質細砂）	暗灰			細砂主体。多量のシルト分を全体に混入。含水中位。φ10～30mmの礫を全体に混入。2.00～2.50m間　貝殻片・廃棄物を所々に混入。4.00mからコンクリート殻を所々に混入。5.00～5.50m間ロームを所々に混入。5.50～6.45m間貝殻片を全体に混入。	
5										
6	-2.37	4.65	6.45							
7	-2.92	0.55	7.00		埋土（細砂）	暗灰			粒径ほぼ均一。貝殻片を全体に混入。含水中位。	
8	-4.72	1.80	8.80		埋土（シルト質細砂）	暗灰			シルト分を全体に多く混入。貝殻片を全体に混入。含水中位。8.40mから徐々に粒子が細かくなる。	
9	-5.52	0.80	9.60		砂質シルト	暗灰			細砂を全体に多く混入。貝殻片を全体に混入。粘性中位。含水中位。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

標高 (m)	試験名および結果
3.55	土壌ガス
3.45	< 0.05volppm

試料採取

標高 (m)	試料番号
4.58	C-1
4.31	C-2
4.16	C-3
4.11	C-4
4.06	C-5
3.81	C-6
3.66	C-7
3.51	C-8
3.36	C-9
3.21	C-10
3.06	C-11
2.91	C-12
2.76	C-13
2.61	C-14
0.71	

採取方法

室内試験（　）

掘進月日

8/27

8/28

ボーリング柱状図

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	0-19	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 4日 ～ 19年 8月 6日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	4.06m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	－
総掘進長	4.60m								エンジン	－	ポンプ	－

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	2.86	1.20	1.20		盛土（混じり砂質土）	褐～暗褐			粒径不均一な砂が主体。シルト・粘土を不規則に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。	
2	0.51	2.35	3.55		盛土（細砂）	褐灰～暗灰			細砂主体。シルトを所々に不規則に混入。植物根・木片を所々に少量混入。貝殻片を全体に混入。	8/16 2.49
4	-0.24	0.75	4.30		埋土（コンクリート）				4.10m迄鉄筋コンクリート以深玉石	
	-0.54	0.30	4.60		砂混じりシルト	暗灰		中位	ほぼ均質なシルト　粘性小～中位。砂分を全体に混入。	
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						8/4 8/6

ボーリング柱状図

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その5）［7街区］

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	0-23	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地先			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場			調査期間	平成 19年 8月 3日 ～ 19年 8月 3日	東経	
調査業者名	興亜開発株式会社 電話（03-3633-7351）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	4.22m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	—
総掘進長	4.70m								エンジン	—	ポンプ	—

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 標高 (m)	試験名および結果	試料採取 標高 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	2.72	1.50	1.50		盛土（混じり粘性土）	褐～暗褐			シルトを主体。砂分を全体に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。貝殻片を全体に混入。レンガ片を所々に混入。粘性小位、含水小位。	8/6 1.47 ▽													
2	2.22	0.50	2.00		盛土（混じりシルト質細砂）	暗褐			シルトを全体に多量に混入。φ10～30mmの礫を全体に混入。貝殻片を全体に混入。含水小位～中位。														
3					埋土（シルト混じり細砂）	暗灰～暗褐	緩い～中ぐらい		シルトを不規則に混入する。貝殻片を多量に混入する。含水大位。2.70～2.80m間シルト層を挟在。3.00～3.40m間シルトを多量に混入し、シルト質細砂状を呈す。3.40m付近　骨類片を混入。														
4	0.02	2.20	4.20																				
5	-0.48	0.50	4.70		砂混じりシルト	暗灰			シルト主体、所々多量の砂分を混入。粘性中位、含水中位～大位。														
6																							